北海道帯広養護学校　進路支援部通信　第１号

ともにあゆむ

令和５年７月 14 日（金）

新年度が始まり、４か月がたちました。児童生徒は学校生活にも慣れ、暑い中でも元気な声が毎日聞こえてきます。

日頃より、本校の進路支援に関してご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今年度も進路支援部通信「ともにあゆむ」をとおして、進路に関する情報を発信していきます。

第１号の「ともにあゆむ」では、「進路に関わる１年間の予定」「高等部現場実習」「卒業後、継続して働くために必要なこと」についてお伝えします。

進路に関わる１年間の予定

月	内容
７月	同窓生のつどい ＜28 日＞ 【高等部２年】進路説明会① ＜７日＞ 【高等部３年】進路懇談週間①＜10 日～＞
８月	【中学部】職場実習・体験学習＜30 日～９月１日＞
９月	【高等部】現場実習② ＜４日～15 日＞ 【中学部３年】進路説明会 ＜６日＞
10 月	【高等部１年】進路説明会＜20 日＞
11 月	【高等部３年】卒業後利用の福祉サービス申請＜１日～＞ 【全校】全校進路説明会＜10 日＞ 【高等部３年】進路懇談週間② ＜６日～＞ 【小学部高ブロック】進路説明会＜参観日と同日＞
12 月	【中学部３年】願書説明会 ＜14、15 日＞ 訪問入学願書説明会＜上旬＞
１月	高等養護学校、高等部入学者選考検査 ＜１月 26 日＞　予定
２月	【中学部１・２年】進路説明会②＜５日＞ 【高等部２年】進路説明会② ＜２日＞
その他	高等養護学校での学校見学会、オープンスクール、教育相談 ＜６月以降随時行われます＞

（文責：高等部　上田）

高等部　現場実習

6月 12 日から 16 日までの５日間、１回目の現場実習がありました。１年生から３年生まで全員が、実習先ごとにグループとなり、一緒に働いたり活動したりすることを経験しました。

普段とは異なる集団の中で「働く」「自分の役割を果たす」など、社会生活を意識して実習に取り組みました。

９月には２回目の現場実習が控えています。１・２年生は今回の実習をとおして出てきた課題の改善を目指して、３年生は卒業後の生活を見据えての前提実習となります。生徒一人一人の成果や課題を保護者の方と共有し、家庭との連携を密にしながら、卒業後を見据えた指導につなげていきます。

（文責：進路 Co.　佐々木）

西 13 号町内会館

近隣の町内会館に行き、広場の除草や石拾いなどの環境整備のほか、会館内の清掃を行いました。会館を利用されている町内の方とも、関わりながら仕事をしました。

しいたけ班

作業学習でも行っているしいたけ作業ですが、ほだ木に電動ドリルで穴をあけ、木槌で菌打ちをしたり、「2023」と書かれたラベル作りをしたりと、普段なかなかできない仕事にも取り組みました。

アップアイランド ゴルフクラブ

地域のゴルフ練習場で、ボールが入っている機械やベンチの清掃作業を行いました。ゴルフの練習をしているお客様に気を配りながら作業したり、仲間と協力しながら作業することを経験しました。

森の里コミュニティーセンター

路線バスを利用して現場まで行き、敷地内の雑草や枯れ草を集めて捨てる作業を行いました。暑い中、屋外でたくさん体を動かす仕事を最後までやり遂げました。

就労継続支援Ｂ型事業所　めでる

同じ法人の愛灯学園内の清掃を行う、Ｂ型事業所の仕事を体験しました。床の水拭きをする職員の方に続いて、隊列を組んで空拭きするなど、やり方や手順を守って仕事をすることの大切さを学びました。

つつじが丘霊園

刈られた草を集めてリアカーに積み込み、愛灯学園まで運搬する仕事をしました。愛灯学園で飼育されている馬にえさを届けるために、みんなでたくさんの草を集め、片道 15 分ほどの道のりを何度も運びました。

外注班①

企業や福祉事業所などから委託された業務を学校内で行い、納品しました。銅線の被膜剥ぎや古紙を折り紙サイズに切る作業など、依頼された仕事に一人一人が責任をもって取り組んでいました。

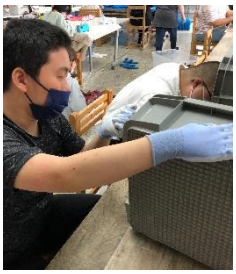
リサイクル班

一人一人が得意な動きなどを生かし作業に取り組みました。指先を使ってペットボトルキャップやラベルをはずしたり、牛乳パックを解体したり、フェルトボールを作ったりと、幅広く活動していました。

拓殖バス

路線バスの車内清掃に取り組みました。協力して道具を運んだり、窓や手すり、床などを役割分担して清掃したりと、いろいろな仕事の仕方を経験しました。

ワークセンターはまなす



路線バスで事業所に行き、仕事をしてきました。箱やスリッパを拭いてきれいにする作業や、木工製品のやすりがけなど、色々な作業を経験しました。

外注班②

主に屋外で作業するもう一つの外注班は、学校の担当者から依頼を受け、駐車場の白線引きを行いました。丁寧にマスキング作業を行い、協力してまっすぐな線に仕上げることができました。

紙工班

牛乳パックのラミネート剥がしや、パルプを細かくちぎるなど、紙の原料を作る仕事をしました。決められた時間いっぱい作業するなど、目標を確認しながら取り組みました。

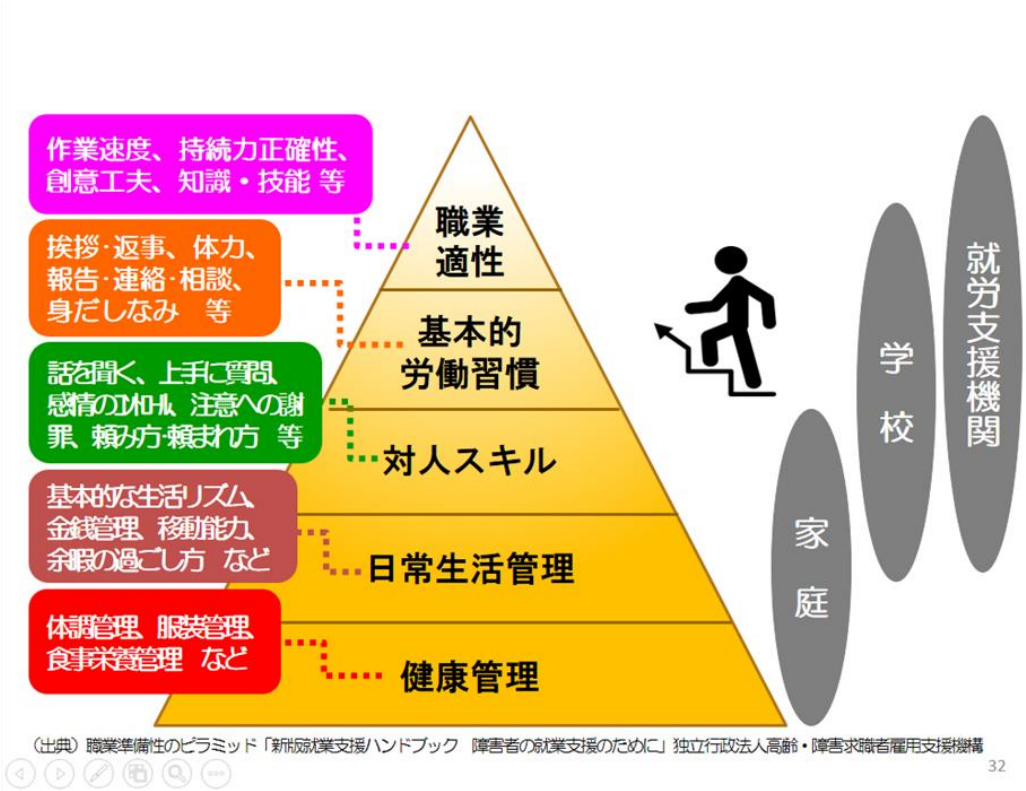
卒業後、継続して働くため必要なこと

障害の有無に関わらず、働き続けるには「健康管理」「日常生活管理」「対人スキル」「基本労働習慣」「職業適性」という５つの資質が必要とされています。これらを階層別に整理したのが「職業適性ピラミッド」と呼ばれるものです（下の表参照）。

卒業後の進路を意識するときに、ピラミッドの上の方にある、「働く力」に視点がいきがちです。確かに「就労=働く」と考えると大切な力です。しかし、ピラミッドは土台の部分が強固でなければ、ピラミッド全体が崩れてしまいます。つまり、「働く力」の土台となる「健康管理」「日常生活管理」が大変重要であるということになります。「働く力」があったとしても、「生活する力」がなければ継続した就労にはつながらないことが分かります。

毎日、休まずに働くためには「丈夫な体」が必要となり、「丈夫な体」を維持するためには体調管理や規則正しい生活、大きな偏食がなく食事をとることが必要となります。また、心の安定を図るためには、充実した余暇を過ごす力も必要となるでしょう。基本的な生活リズムを確立し「生活する力」をつけることが、継続して働く上でとても大切になってきます。

是非、ご家庭におきましても小学部の段階から、学校と連携して、ピラミッドの土台となる「健康管理」「日常生活管理」を意識した生活を送るようにご協力をお願いいたします。　（文責：進路 Co.村上豪）



お知らせ

卒業後の福祉サービス事業所・同窓会に関する情報は集会室又は高等部職員室前の「進路支援部掲示板」に掲示していますので、ご覧ください。

また、障害福祉サービスに関する情報は本校「ホームページ」をご覧ください。